

令和5年度 奥州市一般会計当初予算について

未来に向けた羅針盤づくりを!!

(確かな道筋)

「協働のまちづくりの定着」と「行政経営改革の着実な推進」に努めることとする基本方針は維持しつつ、未来への投資にも力点を置き編成

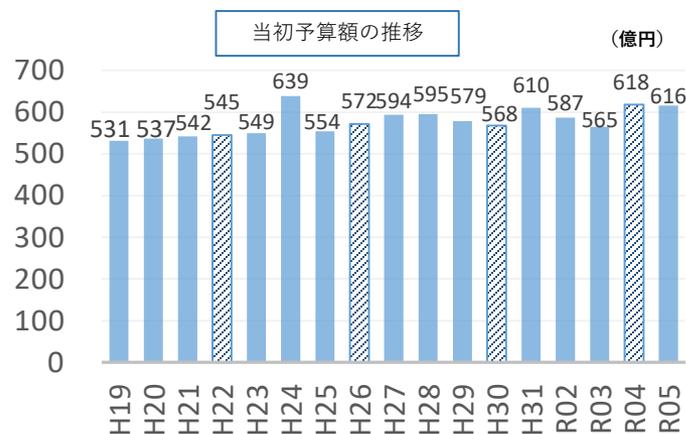
- ▶奥州市総合計画に登載している事業について、事業費及び財源を精査し、「選択と集中」により優先度の高い事業を確実に推進
- ▶新たに総合計画実施計画に「未来投資枠」を設け、新規性、発展性のほか、将来的に収入増加や経費節減、業務改善が見込める事業を積極的に事業化
- ▶財政健全化の推進により事務事業の効率化を図りつつ、物価高騰への対応にも配慮

1 予算規模

| | 令和5年度 | 令和4年度 (6月補正後) | 増減額 | 伸び率 |
|---------|------------|------------------|----------|------|
| 予算総額 | 61,576,000 | 61,835,276 | △259,276 | △0.4 |
| うち一般財源額 | 39,524,907 | 38,573,791 | 951,116 | 2.5 |

(千円・%)

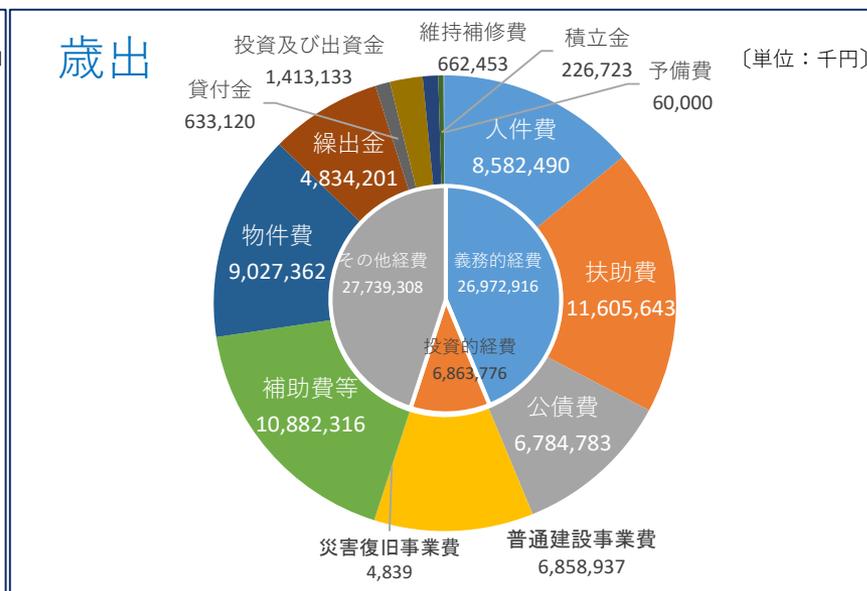
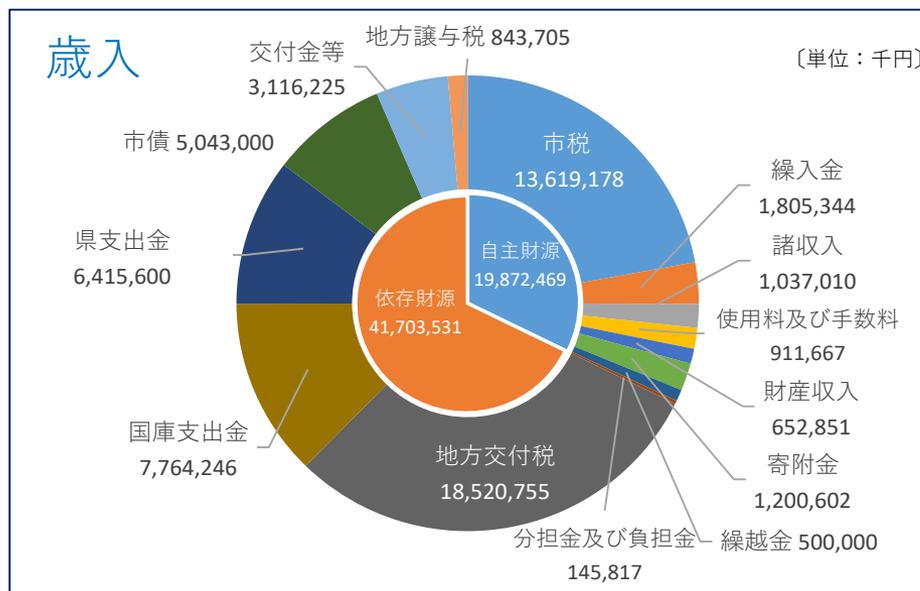
令和5年度予算総額は、教育費において水沢中学校校舎等改築事業で約6.1億円、(仮称)奥州西学校給食センター新築事業で約5.4億円の増、商工費において企業誘致事業で約4.5億円の増、民生費において私立認定こども園建築支援事業で約2.7億円の増などがあるものの、肉付け予算を加味した令和4年度予算では計上していた新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業や低所得者世帯等への臨時特別給付金給付事業の皆減などにより、前年度と比較して約2.6億円(△0.4%)の減となった。



※H22・H26・H30・R04の当初予算は骨格予算のため6月補正後の予算額としています。

2 歳入及び歳出の概要

令和5年度当初予算総額 61,576,000千円



- ▶市税は、過去決算額による増傾向を反映し、法人市民税で7.0%、固定資産税で5.1%の増などにより4.2%の増。
- ▶繰入金は、財政調整基金繰入金は約3.6億円増加しているものの、第三セクター等改革推進債の償還終了に伴う減債基金繰入金の減により14.9%の減。
- ▶寄附金は、ふるさと応援寄附金の増により20.0%の増。
- ▶普通交付税は、臨時財政対策債への振替の減により0.9%の増。特別交付税は、震災復興特別交付税の減などを反映し1.1%の減。
- ▶国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の皆減などにより14.4%の減。
- ▶市債は、第三セクター等改革推進債の借換債の皆減、臨時財政対策債で74.2%の大幅減があるものの、普通建設事業の増による市債発行額の増により2.5%の増。

- ▶義務的経費は、市町村総合事務組合負担金の増などにより人件費で5.3%増となったものの、少子化の影響により扶助費で5.5%減、第三セクター等改革推進債の償還終了などにより公債費で25.8%の減となったため、全体としては8.8%の減。
- ▶投資的経費は、水沢中学校校舎等改築事業、(仮称)奥州西学校給食センター新築事業や企業誘致事業などの純増により67.2%の大幅増。
- ▶補助費等は、私立認定こども園建築支援事業や橋りょう長寿命化修繕事業における多賀大橋耐震補強工事負担金の増などがあるものの新型コロナウイルス感染症対応事業の減などにより2.6%の減。
- ▶維持補修費は、予防修繕の方向性も取り入れ、公共建築物分の維持・更新費用を積極的に計上し10.3%の増。
- ▶投資及び出資金は、水道事業会計負担金(出資金分)、病院事業会計負担金(出資金分)の増により10.5%の増。

3 重点的に予算を配分した主な事業

◎ 未来投資枠事業

※事業の概要は「令和5年度奥州市予算の概要」P.23～25の「未来投資枠事業」一覽参照

| | | | |
|--------------------------------|----|------------|----|
| ※新規性、発展性に主眼を置きつつ、未来投資に資する事業を選定 | | 757,465 千円 | |
| ▶ 寄り添う奥州プロジェクト事業 | うち | 77,051 千円 | |
| ・ モバイルクリニック遠隔診療サービス事業 | | 55,045 千円 | 1 |
| ・ 地域おこし協力隊運営支援事業 | | 13,942 千円 | 5 |
| ▶ 総合戦略事業（未来投資枠分） | うち | 276,495 千円 | |
| ・ 新規就農者支援事業 | | 61,850 千円 | 14 |
| ・ 子ども医療費給付事業 | | 45,000 千円 | 21 |
| ▶ 将来的に収入増加や経費節減、業務改善が見込める事業 | うち | 403,919 千円 | |
| ・ 体育施設維持管理事業 | | 126,034 千円 | 28 |
| ・ 文化会館管理運営事業 | | 69,583 千円 | 30 |

◎ 市政発展のための戦略プロジェクト（総合戦略事業）

※事業の概要は「令和5年度奥州市予算の概要」P.26～28の「総合戦略事業」一覽参照

| | | | |
|--|----|------------|--|
| ▶ 「誇りと幸せを実感できるまちづくり」～人口プロジェクト～ | | 407,643 千円 | |
| ・ 安定した雇用と新しい産業の創出 | うち | 143,065 千円 | |
| <small>（創業支援事業、新規就農者支援事業、ブランド牛生産拡大事業、ジョブカフェ運営事業など）</small> | | | |
| ・ 出会いを通じた結婚支援、子育て環境ナンバーワンへ | うち | 127,748 千円 | |
| <small>（子ども医療費給付事業、医師養成奨学資金貸付事業、妊産婦応援給付金給付事業など）</small> | | | |
| ・ 体験を通じた新たな奥州ファンの開拓 | うち | 83,641 千円 | |
| <small>（地域おこし協力隊運営事業、カヌー等推進事業、いわて奥州きらめきマラソン事業など）</small> | | | |
| ・ 地域愛の醸成と、安心・安全に生活できる個性豊かな地域社会の実現 | うち | 53,189 千円 | |
| <small>（地方創生包括連携推進事業、地区内交通運行事業、学力向上支援事業など）</small> | | | |

※金額右のNOはP.5の主な事業のNOと一致

| | | | |
|-----------------------------|-----------|----------|---|
| ▶ 「世界へ発信するまちづくり」～ILCプロジェクト～ | （ILC推進事業） | 7,095 千円 | 9 |
|-----------------------------|-----------|----------|---|

| | | |
|---|--------------|-------------|
| ▶ みんなで創る生きがいあふれるまちづくり ≪政策企画・協働まちづくり分野≫ | | |
| ・ 地区センター管理事業（地区センター指定管理料分） | 342,377 千円 | 22 |
| ・ 地域づくり推進事業（協働のまちづくり交付金等） | 195,878 千円 | 26 |
| ・ 奥州ふるさと応援寄附事業 | 660,000 千円 | 5 |
| ▶ 未来を拓く人を育てる学びのまちづくり ≪教育行政分野≫ | | |
| ・ 水沢中学校校舎等改築事業 | 786,965 千円 | 208 |
| ・ (仮称)奥州西学校給食センター新築事業 | 596,387 千円 | 231 |
| ・ 若柳小学校統合受入改修事業／姉体小学校統合受入改修事業 | 340,821 千円 | 199・200 |
| ▶ 健康で安心して暮らせるまちづくり ≪福祉・医療・健康分野≫ | | |
| ・ 新型コロナウイルスワクチン接種事業 | 834,996 千円 | 92 |
| ・ 子ども医療費給付事業（未来投資枠分含む） | 330,492 千円 | 57・58 |
| ・ 私立認定こども園建築支援事業 | 300,346 千円 | 73 |
| ▶ 豊かさと魅力あるまちづくり ≪農業・工業・商業振興分野≫ | | |
| ・ 強い農業づくり交付金事業 | 1,110,000 千円 | 114 |
| ・ 企業誘致事業（企業立地促進補助金） | 450,000 千円 | 147 |
| ▶ 環境にやさしい安全・安心なまちづくり ≪市民環境・防災分野≫ | | |
| ・ 常備消防事業（奥州金ケ崎行政事務組合負担金） | 1,657,110 千円 | 182 |
| ・ ごみ及びし尿処理施設運営等負担事業（奥州金ケ崎行政事務組合負担金） | 860,841 千円 | 103 |
| ▶ 快適な暮らしを支えるまちづくり ≪都市整備・公共交通・デジタル戦略分野≫ | | |
| ・ 社会資本整備総合交付金事業（道路改良工事、通学路改善など） | 508,580 千円 | 170・171 |
| ・ 都市基盤長寿命化事業（橋りょう、公園、公営住宅など未来投資枠分含む） | 546,289 千円 | 174・178・181 |
| ・ 交通運輸対策事業（地区内交通運行事業を除く） | 101,721 千円 | 31 |

4 基礎的財政収支（プライマリーバランス）の状況

予算上のプライマリーバランスは、普通建設事業費の大幅な増による市債の発行額の増などにより、約1.6億円の赤字となったものの、令和4年度に第三セクター等改革推進債の借換債の発行抑制を行ったことなどにより、起債残高は年度末比較で15.0億円の減となる見込み。

(1) (歳入総額－地方債発行額・基金等取崩額等)－(歳出総額－地方債元利償還額等) = △157百万円

(2) 借入予定額(50.4億円)－償還元金(65.5億円) = △15.0億円(端数調整による)

◇令和4年度末・起債残高見込額 550.7億円 ◇令和5年度末・起債残高見込額 535.7億円